



2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社コンヴァノ 上場取引所 東
 コード番号 6574 URL <https://www.convano.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 壺井 成仁
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 人事総務・広報部部長（氏名） 木村 恵美（TEL）03-3770-1190
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（当社ウェブサイトにて決算説明会動画を配信）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,105	△0.2	△49	—	△52	—	△52	—	△52	—	△52	—
2022年3月期第2四半期	1,107	80.1	114	—	111	—	74	—	74	—	74	—
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
2023年3月期第2四半期	△23.05		△23.05		△23.05		△23.05		△23.05		△23.05	
2022年3月期第2四半期	32.69		32.69		32.69		32.69		32.69		32.69	

(参考) EBITDA 2023年3月期第2四半期 71百万円 2022年3月期第2四半期 230百万円

(注) 1. 当社グループは経営上の重要な指標としてEBITDAを用いております。

2. 2023年3月期第2四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期利益の計算から除外しております。

3. EBITDAの定義、計算方法につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	
2023年3月期第2四半期	2,440	797	797	848	797	848	32.7	
2022年3月期	2,423	848	848	848	848	848	35.0	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350	9.7	140	58.0	135	64.9	90	76.4	90	76.4	39.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,269,560株	2022年3月期	2,268,160株
2023年3月期2Q	111株	2022年3月期	111株
2023年3月期2Q	2,269,364株	2022年3月期2Q	2,264,167株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2022年11月28日(月)に当社ウェブサイトにて決算説明会動画を配信する予定です。

四半期決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)におけるわが国経済は、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除され、新型コロナウイルス感染症による活動制約は段階的に緩和されたものの、急激な円安による為替相場の変動、ロシア・ウクライナ情勢に起因するエネルギーおよび原材料価格の高騰などにより、景気の先行きの不透明感が高まっております。

当社グループの属するネイル業界におきましても、繁忙期である夏季にコロナの第7波が発生するなど、依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、従業員数の減少に伴う店舗スタッフの人員不足により一部店舗で臨時休業を実施したことが影響し、前年同期に比べて僅かに減収となりました。

従業員数は、積極的な採用・教育に取り組み増加傾向にあり、今後も早期に適正な水準まで回復するよう努めてまいります。

利益は、雇用維持に伴う人件費の上昇と採用教育コストの増加などにより、前年同期比で減益となりました。

店舗展開では、4月にファストネイル テラスモール湘南店(神奈川県藤沢市)、9月にファストネイル mozoワシントンシティ店(愛知県名古屋市中区)を新規出店しました。

なお、6月に雇用調整助成金の自主返還82百万円の納付を完了しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益は1,105百万円(前年同期比0.2%減)、営業損失は49百万円(前年同期は営業利益114百万円)、税引前四半期損失は52百万円(前年同期は税引前四半期利益111百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は52百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益74百万円)、当社グループが経営上の重要な指標としているEBITDA(※)は71百万円(前年同期比69.1%減)となりました。

※ EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ネイル事業

(店舗数)

ブランド名	地域	2022年3月末	新規出店	2022年9月末
ファストネイル	関東	40(1)	1	41(1)
	東海	5	1	6
	関西	4	—	4
	中国	1	—	1
	九州	1	—	1
	計	51(1)	2	53(1)
ファストネイル・プラス	関東	3	—	3
ファストネイル・ロコ	関東	3	—	3
	東海	1(1)	—	1(1)
	関西	2(2)	—	2(2)
	九州	2(2)	—	2(2)
	計	8(5)	—	8(5)
合計		62(6)	2	64(6)

(注) ()内はフランチャイズ店舗であり内数であります。

(新規出店)

年	月	内容
2022	4	ファストネイル テラスモール湘南店(神奈川県藤沢市)を新規出店
	9	ファストネイル mozoワンダーシティ店(愛知県名古屋市中区)を新規出店

(業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	1,103	1,102	△1
セグメント利益(△は損失)	117	△44	△161

② メディア事業

(業績)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	5	3	△2
セグメント利益(△は損失)	△3	△5	△2

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、598百万円となりました。これは主に、棚卸資産が10百万円増加したことなどによるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、1,843百万円となりました。これは主に、使用権資産が17百万円増加した一方で、無形資産が7百万円減少したことなどによるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、2,440百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、1,222百万円となりました。これは主に、借入金に150百万円増加した一方で、引当金が83百万円減少したことなどによるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、421百万円となりました。これは主に、リース負債が18百万円増加したことなどによるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、1,644百万円となりました。

(資本)

資本は、四半期損失の計上などにより前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、797百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、390百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は33百万円（前年同期は146百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期損失52百万円、助成金返還損失引当金△81百万円をそれぞれ計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は21百万円（前年同期比35百万円の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出を17百万円計上したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は52百万円（前年同期は137百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の増減額200百万円を計上した一方で、リース負債の返済による支出を99百万円計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、店舗スタッフの人員不足により一部店舗で臨時休業を実施したことが影響し、営業利益、税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は赤字となっておりますが、積極的な採用・教育による人員不足の解消、全国旅行支援等による人流増加に伴うネイル需要の回復、10月より実施した価格改定の効果などが期待できることから、当連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の通期連結業績予想は2022年5月12日の公表数値を据え置きます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は不透明であるものの、2023年3月期中は継続するものと仮定しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	392,626	390,281
営業債権及びその他の債権	109,783	102,433
棚卸資産	70,189	80,101
その他の流動資産	18,435	24,833
流動資産合計	591,033	597,648
非流動資産		
有形固定資産	70,454	70,045
使用権資産	300,319	316,926
のれん	650,260	650,260
無形資産	559,818	552,862
その他の金融資産	152,681	154,218
その他の非流動資産	879	686
繰延税金資産	97,696	97,696
非流動資産合計	1,832,107	1,842,693
資産合計	2,423,140	2,440,341
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	54,105	56,803
借入金	630,000	780,000
未払法人所得税等	6,634	3,317
リース負債	157,915	150,861
その他の流動負債	239,034	231,171
引当金	82,500	—
流動負債合計	1,170,188	1,222,152
非流動負債		
借入金	200,000	200,000
リース負債	145,014	162,821
その他の非流動負債	15,151	13,949
引当金	44,389	44,626
非流動負債合計	404,553	421,396
負債合計	1,574,741	1,643,548
資本		
資本金	50,682	51,162
資本剰余金	2,864	3,084
利益剰余金	794,941	742,636
自己株式	△89	△89
親会社の所有者に帰属する持分合計	848,399	796,793
資本合計	848,399	796,793
負債及び資本合計	2,423,140	2,440,341

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	1,107,167	1,104,870
売上原価	704,061	694,572
売上総利益	403,106	410,298
販売費及び一般管理費	374,634	460,087
その他の収益	86,452	3,855
その他の費用	837	3,079
営業利益(△は損失)	114,087	△49,013
金融収益	330	328
金融費用	3,629	3,620
税引前四半期利益(△は損失)	110,788	△52,305
法人所得税費用	36,765	—
四半期利益(△は損失)	74,022	△52,305
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	74,022	△52,305
四半期利益(△は損失)	74,022	△52,305
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)	32.69	△23.05
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)	32.60	△23.05

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益(△は損失)	74,022	△52,305
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	74,022	△52,305
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	74,022	△52,305
四半期包括利益	74,022	△52,305

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2021年4月1日残高	94,987	659,283	34,896	△67	789,099	789,099
四半期利益(△は損失)	—	—	74,022	—	74,022	74,022
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	74,022	—	74,022	74,022
新株の発行	6,202	2,088	—	—	8,290	8,290
減資	△50,507	50,507	—	—	—	—
欠損補填	—	△709,014	709,014	—	—	—
所有者による拠出及び所有者 への分配合計	△44,305	△656,419	709,014	—	8,290	8,290
所有者との取引額合計	△44,305	△656,419	709,014	—	8,290	8,290
2021年9月30日残高	50,682	2,864	817,932	△67	871,412	871,412

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2022年4月1日残高	50,682	2,864	794,941	△89	848,399	848,399
四半期利益(△は損失)	—	—	△52,305	—	△52,305	△52,305
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△52,305	—	△52,305	△52,305
新株の発行	480	220	—	—	700	700
所有者による拠出及び所有者 への分配合計	480	220	—	—	700	700
所有者との取引額合計	480	220	—	—	700	700
2022年9月30日残高	51,162	3,084	742,636	△89	796,793	796,793

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	110,788	△52,305
減価償却費及び償却費	115,465	120,029
金融収益	△330	△328
金融費用	3,629	3,620
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	10,175	7,350
棚卸資産の増減額(△は増加)	△16,594	△9,912
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	2,301	5,065
未払消費税等の増減額(△は減少)	△79,605	△29,449
未払給与の増減額(△は減少)	12,812	10,093
未払賞与の増減額(△は減少)	—	624
未払有給休暇の増減額(△は減少)	△3,769	14,151
資産除去債務の履行による支出	△3,034	△72
助成金返還損失引当金(△は減少)	—	△80,500
その他	5,045	△11,102
小計	156,885	△22,736
利息の受取額	2	2
利息の支払額	△3,658	△3,656
法人所得税等の支払額	△7,181	△6,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,047	△33,024
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,688	△16,640
無形資産の取得による支出	△45,141	△2,973
敷金及び保証金の差入による支出	△3,341	△1,922
敷金及び保証金の回収による収入	2,171	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,000	△21,382
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△40,000	△50,000
株式の発行による収入	8,290	700
リース負債の返済による支出	△105,092	△98,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,802	52,061
現金及び現金同等物の増減額	△46,754	△2,345
現金及び現金同等物の期首残高	364,942	392,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	318,188	390,281

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントであります。

当社は業績評価に使用する区分として、事業の種類別に「ネイル事業」及び「メディア事業」の2つを報告セグメントとしております。ネイル事業は、店舗でのネイル施術等のサービス提供及びネイルケア商品等の販売をしております。メディア事業は、ネイルサロンの店舗網を活かし、企業等に対し、広告サービスを提供しております。セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。金融収益、金融費用、法人所得税費用は、取締役会が検討するセグメント利益に含まれていないため、セグメント業績から除外しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,102,315	4,852	1,107,167	—	1,107,167
セグメント間の売上収益	728	—	728	△728	—
計	1,103,043	4,852	1,107,894	△728	1,107,167
セグメント利益(△は損失)	117,331	△3,244	114,087	—	114,087
金融収益					330
金融費用					3,629
税引前四半期利益(△は損失)					110,788
その他の項目					
減価償却費及び償却費	115,465	—	115,465	—	115,465
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	1,101,921	2,949	1,104,870	—	1,104,870
セグメント間の売上収益	442	—	442	△442	—
計	1,102,363	2,949	1,105,313	△442	1,104,870
セグメント利益(△は損失)	△43,912	△5,101	△49,013	—	△49,013
金融収益					328
金融費用					3,620
税引前四半期利益(△は損失)					△52,305
その他の項目					
減価償却費及び償却費	120,029	—	120,029	—	120,029
減損損失	—	—	—	—	—

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり四半期利益

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	74,022	△52,305
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,264,167	2,269,364
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	32.69	△23.05

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	74,022	△52,305
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,264,167	2,269,364
希薄化後普通株式の加重平均株式数(株)	2,270,748	2,272,533
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	32.60	△23.05

(注) 当第2四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の計算から除外しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。